

平成 30 年度 第 3 回全国有床診療所連絡協議会役員会

と き 平成 30 年 12 月 2 日 (日) 10:30 ~ 12:00

ところ TKP 品川カンファレンスセンター ANNEX「カンファレンスルーム 8」

[報告: 山口県医師会有床診療所部会長 正木 康史]

平成 30 年度の標記協議会の第 3 回役員会が 12 月 2 日 (日) に TKP 品川カンファレンスセンターで開催された。

若手医師の会

役員会に先立ち「若手医師の会」が開催され、山口県医師会有床診療所部会からも阿部副部会長が参加された。この会は、平成 30 年 7 月に開催された全国有床診療所連絡協議会総会・山口大会中に開催の予定であったが、台風接近による交通障害の恐れが心配され、急遽中止となったための代替えの開催である。

議題として、本年度の日医有床診療所委員会の諮問事項「中長期的に見た、地域における有床診療所のあり方について」が取り上げられた。若手医師からは、「大都市への人材も含めた医療資源の一極集中があり、地方では人材不足（看護師、介護士など）のため入院医療提供の維持が困難となりつつある」、「特に当直ができる看護師の確保が困難である」、「複数医師体制が望ましいが、人材確保や経営的にみて難しい面がある」、「中核病院と複数の有床診療所との地域医療連携推進法人の立ち上げを試みているが、手続き上、困難な状況にある」などの意見が上がった。全国協議会の役員からは「有床診では施設に看護師は一人で OK であり、夜間も必ずしも看護師がいなくてもよく、看護補助者でも構わないので、柔軟に対応していただきたい」とのアドバイスもあった。

役員会

最初に鹿子生会長が「本日はお忙しい中、全国よりお集まりいただきありがとうございます。7 月の山口県での全国有床診療所連絡協議会総会は

台風直撃の心配もあったが、無事開催することができた。多くの方に参加いただき、また、山口県医師会の皆様にはご尽力いただき感謝申し上げます。本日は役員会の後、日本臨床整形外科学会の有床診療所部会で小玉日医常任理事と森光厚労省保険局医療課長の講演会も予定されている。本日はご協議のほどよろしく願います」と挨拶された。

議題

1. 群馬県の有床診療所視察について

(猿木常任理事)

10 月 11 日 (木) に、群馬県沼田市の産婦人科医院と前橋市の内科診療所の視察が行われた。国会議員 3 名 (富岡 勉 衆議院議員、葉梨康弘 衆議院議員、羽生田 俊 参議院議員)、厚労省 3 名 (医政局地域医療計画課 2 名、老人保健局老人保健課 1 名)、全国有床診療所連絡協議会 3 名及び群馬県医師会から須藤県医師会長はじめ 3 名の参加があった。

視察医療機関からは「准看護師は地元に残ってくれるので、准看護学校を支援してほしいが、キャリアアップすると病院に行ったり、都会に出てしまう」、「附帯事業で経営がようやくトントンなので、有床診単体でも何とか黒字が出るように診療報酬を上げてほしい」、「看護職員だけでなく介護職員も不足しているので、人材育成を進めてほしい。インドネシアからの研修生の受入れも考えている」などの意見・要望があった。

厚労省の各部門の担当者は 2 年ごとにほとんどが入れ替わるため、有床診の現状を理解していただくため、これまでも定期的に厚労省の医政局、保険局医療課、老健局老人保健課などからの参加

をいただき、有床診視察を行っており、一定の成果も出ている。

2. 在宅医療及び医療・介護連携に関するワーキンググループについて（猿木常任理事）

2016 年 8 月以降、これまで 6 回の委員会が開かれているが、在宅での医療・介護連携を進めるにあたり、①どのように進めたら良いか、②進捗状況をモニターする良い指標はなにか、③第 7 次医療計画の中間見直しへの対応などが議論されている。

3. スプリンクラーについて（大谷常任理事）

平成 29 年 1 月 1 日現在のスプリンクラーの整備状況及び設置予定についてのアンケート調査（回答率 80.0%）によると、有床診 4,584 施設の内、設置済み 11.9%（544 施設）、設置義務対象外 44.9%（2,056 施設）、今後設置予定 23.0%（1,055 施設）、方針未定 7.5%（345 施設）、無床化へ転換予定 11.7%（536 施設）、閉院予定 1.1%（48 施設）であった（このデータの「設置済み」施設数には、国の補助金を活用してスプリンクラーを整備した施設は含まれていない。平成 25 年から平成 29 年度までに補助金を活用してスプリンクラーを整備した有床診は 2,075 施設ある）。平成 30 年度の国の予算は 200 億円確保できているが、有床診からの申請は 7 件しかなく、このままでは来年度以降の予算確保が難しくなる恐れもあるため、早めの補助金申請をお願いしたい。

4. 執行部の職務分担について（松本専務理事）

議連、医政、税制、継承、医業経営、診療報酬、介護保険、地域医療、医療安全、防災、IT、広報、学術、将来構想、会員拡大、会計等の各担当者を決めて、執行部で職務を分担することが提案され承認された。

5. 日医有床診療所委員会について（松本専務理事）

平成 30 年度の第 1 回標記委員会が 10 月 31 日（水）に開催された。日医会長の諮問事項は「中長期的に見た、地域における有床診療所のあり方について」であり、今後 2025 年までを中期、

2040 年までを長期と想定し、地域における有床診療所のあり方について検討していくことになる。

6. 平成 30 年度診療報酬改定の評価について

（正木）

今年度も私（正木）が日医の診療報酬検討委員会の委員を拝命した。診療報酬検討委員会の諮問事項①「平成 30 年度診療報酬改定の評価」を取りまとめ、日医に提出する必要があるため、各都道府県の有床診療所部会で部会員の意見を取りまとめていただき、全国有床診療所連絡協議会事務局へ提出していただくようお願いした。

7. その他

全国有床診療所連絡協議会役員会終了後、同じビル内で“明日の有床診療所を考える会”（共催：全国有床診療所連絡協議会・有床診療所の日記念事業）が開催され、日医で有床診療所を担当されている 小玉弘之 日医常任理事の講演「有床診療所の現状と今後」、及び厚生労働省の 森光敬子 保険局医療課長の講演「平成 30 年度の診療報酬改定結果と今後の有床診療所の方向性について」があり、拝聴してきた。

県下唯一の医書出版協会特約店

医学書専門 井上書店
看護学書

〒755-8566 宇部市南小串2丁目3-1(山口大学医学部横)

TEL 0836 (34) 3424 FAX 0836 (34) 3090

[ホームページアドレス] <http://www.mm-inoue.co.jp/mb>.

新刊の試覧・山銀の自動振替をご利用下さい。